

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
佐川町	黒岩地区	2022年3月31日	2024年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	314.5	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	167.7	ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	145.6	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	22.8	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16.9	ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある耕作面積の合計	9.9	ha
（備考）		

2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化に伴い、耕作面積の減少や耕作放棄などが増えてきている。また、米の価格下落もあり、水稻の栽培面積も減少しており、飼料米やWCS、ショウガ、園芸作物などに切り替わってきている。 当地域では、新高梨やイチゴなどの栽培も盛んであるが、大雨が降ると水害が発生しやすいため、水稻から転換を検討できる土地が限られており、水害対策も重要な課題となっている。また、茶畑の維持管理も重要な課題となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針

認定農業者や認定新規就農者など意欲のある担い手に中心経営体となってもらい、農地の集約化を図っていく。また、耕作者の高齢化に伴い、集落営農組織の設立等を検討し、集約を進めていく。
--

中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
	（氏名・名称）	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計						

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

耕作者放棄地解消への取組方針 中間管理機構の積極的な利用や、町独自の農地バンクを検討し、耕作放棄地が増加しない取り組みを進める。
基盤整備への取組方針 基盤整備は一部実施済みであるが、河川改修に伴う水路の改修など、より農業が行いやすい環境づくりを進めていく。
鳥獣被害防止策への取組方針
農道・水路の維持管理方針 多面的機能支払や中山間事業を継続して活用し、地域で維持管理を図る。